

第11回

GUNMA マンガ・アニメフェスタ最高賞／大賞

[マンガ部門 (中学生)]

「わたしの目」 如月玲花。

ibisPaint X

この度は大賞・最高賞に選んでいただきありがとうございます!!!とても大きな賞をもらい、驚きました!もう少し丁寧に仕上げられたら良かったと思います…!ぜひ楽しんでもらったら嬉しいです!

講評

無駄なコマが少なく、背景の木の雰囲気や心情が描写されている点などに画面構成力の高さを感じました。また、主人公の境遇の変化によって温かい気持ちになり、そしてもう一つの秘密に驚かされましたが、短編でそれらをまとめきる物語構成力も優れています。伏線もしっかり張られており唸りました。とても見やすい作画ですが、より繊細な描写を身につけられるともう隙がありません。中学生部門から初の最高賞、おめでとうございます。

(審査員：末永雅弘)



第11回

GUNMA マンガ・アニメフェスタ大賞

[マンガ部門 (一般)]

「今を限りと…」 No.11

ケント紙、インク、マーカー、スクリーントーン

この作品を大賞に選んでいただき、ありがとうございます。漫画を描いた経験があまりなかったのですが、これを機にもう少し表現を追求してみようと思います。じいちゃん、嬉しい。大賞貰った。じいちゃんのこと、誰かに知ってもらおう機会をもらえた。

講評

祖父へ寄せる気持ち、祖父との大事な思い出。描き手の想いがページの隅々にまで染み渡っている感動的な作品です。とって大声で叫ぶような派手な表現ではなく、静かに小声で語り続けるような抑制された表現。その誠実で丁寧な描写の積み重ねが、逆に描き手の真心、やさしさ、そして悲しみの大きさを読み手に伝えてくれます。大賞にふさわしい佇まいを備えた、芯の確かな作品と審査委員一同の意見が一致いたしました。おめでとうございます。

(審査員：猪飼幹太)



第11回

GUNMA マンガ・アニメフェスタ大賞

[マンガ部門 (高校生)]

「セミファイナル」 柴山愛子

コピックマルチライナー、コピックチャオ、Uni-ball シグノ

この度、大賞を頂けたことをとても光栄に思います。何を描こうか迷っていた時、セミの鳴き声が聞こえ、セミと人が恋に落ちる物語は面白いのではないかとふと思ったのがこの作品を描ききっかけでした。この貴重な経験を活かし、より良い作品を生み出せるよう精進して参ります。

講評

天才なセミと身体を入れ替えられた少年は、地上での短い命で弱り続けるセミの身体で己の肉体を見つけ出し取り戻せるのか!?死期が迫り弱ったセミの身体でも最期の全力を振り絞る主人公の姿は心を打ちタイトル通り正にセミファイナル!途中出会い身体探しに協力する同じ学校の女子との二人の関係も最後には意外な展開に!!内容満載で説明するとぶっ飛んでいる話だがそれを疑問に思わせない話の勢いとテンポでとても楽しく読める。素晴らしいセンスだと思う。

(審査員: いけ)



第11回

GUNMA マンガ・アニメフェスタ大賞

[マンガ部門 (小学生)]

「バカ野郎共の島おこし」 揚げパン

ミリペン、鉛筆、筆ペン、ペン

初めてマンガを描いて応募しましたが受賞することができて光栄です。私の作品をたくさんの人に読んで頂けたら嬉しく思います。

講評

大賞受賞おめでとうございます！とにかく大変エネルギッシュな作品でした。特にキャラ達が生き生きと動き回っていたのが魅力的です。難しい表情や背景にも果敢に挑戦していて将来性を感じました。設定もお話も理屈ではない勢いがあり、それに圧倒されてついつい最後まで読んでしまいました。このまま小さくまとまらず自由に創作を続けて欲しいです。

(審査員：星野正美)



第11回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ優秀賞

[マンガ部門 (一般)]

「恋文の話」 さくみ

墨汁、Gペン、丸ペン、スクリーントーン、ホワイト ほか

のぞみ薄い好きな子に想いを伝えるのは難しいけど伝えたくなっちゃうよねって話を描きました。

講評

非常に完成度の高い、小品ですが読み応えのある作品です。登場するのは仲の良い小学生の男の子ふたり。【ラブレター】をモチーフに、ふたりの関係性や秘めた想いが描かれていきます。その真剣さや切実さ、だからこそその可愛さまで、読み手にしっかりと伝わってきます。コマ割りや構図など漫画表現も実に的確で読みやすく、必要な効果を常に十分に表現できています。これからどんな漫画を描いていかれるのか…近未来が楽しみな才能です。
(審査員：猪飼幹太)



第11回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ優秀賞

[マンガ部門 (一般)]

「かかあ天下」 古林香一

iPad、CLIP STUDIO PAINT

この度は優秀賞をいただき、誠にありがとうございます。この作品では見せ方を工夫したいなと思い、見開きを入れてみました。これからも面白い漫画が描けるように精進して参ります。

講評

一つ一つのエピソードで主人公の本音や本性が出ており、コミカルで楽しく読めました。最初のホテルのエピソードも率直でつかみがバッチリです。助けた相手が女装した男性というのも意外でしたが、「女性になりたい人」の目標に主人公がなるという構造も面白いですね。群馬のかかあ天下的な女性の魅力を伝えてくれると同時に、ありのままであることの良さを教えてくれる作品でした。

(審査員：末永雅弘)



第11回

GUNMA マンガ・アニメフェスタ COMIC リュウ賞／優秀賞

[マンガ部門 (高校生)]

「ごはんは人生のスパイス！」 草間桃花

水性ペン

私自身食べることでネガティブな気持ちがポジティブに変わったりして食事に助けられてきたので、この作品を通して食事をしっかりとる事で、たくさんの変化に出会わせてくれるという思いを込めて作りました。

講評

働くことの辛さ、厳しさ、理不尽さ。そして【食べる楽しみ】があることの幸福。学生である描き手が、どうしてこんなに社会人の心のデリケートな部分まで理解してくれているのだろう…と審査委員の間で話題になりました。主人公のモノローグがひとつひとつ適切で共感しかありません。そして描かれる食事のチョイスも秀逸。【カツカレーと味噌ラーメン】絶対いっしょに食べたいです！

(審査員：猪飼幹太)



第11回

GUNMA マンガ・アニメフェスタ優秀賞

[マンガ部門 (中学生)]

「画力矯正」 高山玄瑛

ミリペン、油性ペン、スクリーントーン、コピック、修正液

昨年に続き素晴らしい賞をいただけてとても嬉しく思います。16ページに自分の描きたい世界や絵を収めるのは大変でしたが、少し報われたように思います。これからも日々精進を重ねてレベルアップできるよう頑張ります。改めてありがとうございました。

講評

優秀賞受賞おめでとうございます！複雑な設定のお話を何とか読み手にわかりやすく、ギャグテイストを交えながら伝えようとしている姿勢が大変素晴らしいです！ただ、その設定の説明に多くのページを割いてしまったのが少し残念でもあります。絵柄やキャラは素直で読者に受け入れられやすいタイプで良いと思います。今後はもっとシンプルな設定の作品に挑戦する事で、ご自身の強み、弱みに気づく事が出来ると思います。

(審査員：星野正美)



第11回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ優秀賞

[マンガ部門 (中学生)]

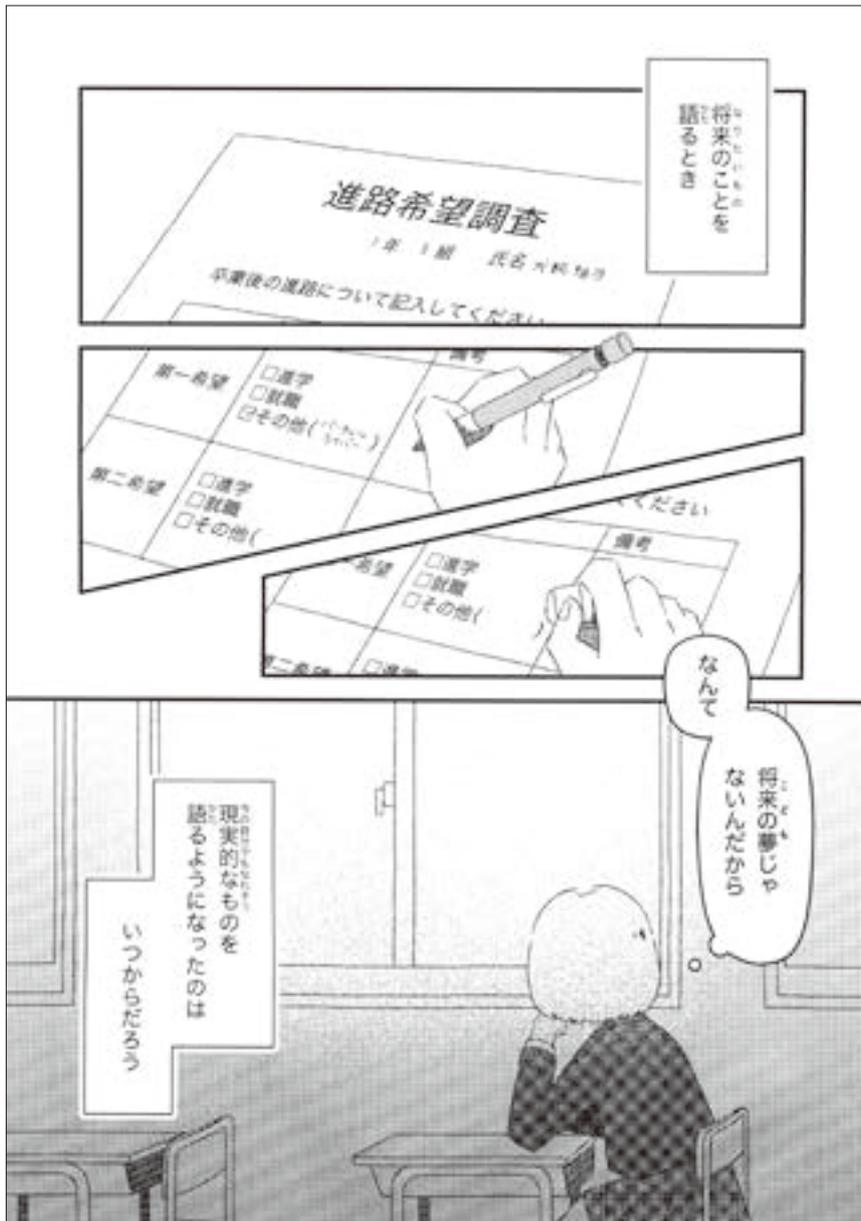
「黄色いスイセン」 ゆゆゆめる

CLIP STUDIO PAINT

この度は優秀賞に選んでいただき有難うございました。この作品は突然に辛い選択を迫られる主人公の心の葛藤を描いたものです。形に出来ない感情や声にならない声などの表現にとても苦戦しました。もっと上手く表現できるのではないかと他の伝え方はないか？漫画は描けば描くほど新しい発見や問題に気付き、奥が深くて難しいなあと痛感します。それと同時に、形になる事の喜びと達成感は何とも言えません。私は将来、たくさんの人に作品を読んでもらえるような漫画家を目指して頑張りたいです。

講評

花というモチーフを上手に活かして、描き手が自分の頭の中にある漠としたイメージを、作品として具体化していくと努力が感じられる点がとても良いと思いました。限定的なシチュエーションではありますが、キャラクター同士の関係性を作って、しっかりドラマを展開していくと志を感じます。まだまだ伸びしろがあると思います。
(審査員：猪飼幹太)



第11回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ奨励賞

[マンガ部門 (一般)]

「窓の向こうへ」 苔玉まりも

CLIP STUDIO PAINT

この度は、奨励賞をいただき、誠に光栄に存じます。犬飼 柚月(いぬかい ゆづき)と鼓 稔(つづみ みのる)の活動に、すこしでも興味を持っていただけましたら、X(旧:Twitter)【@coke_diary】をご覧ください、次回の投稿を楽しみにお待ちしております…！

講評

奨励賞受賞おめでとうございます！興味深い題材の作品で最後まで楽しく読ませて頂きました。今回の受賞はこの題材選びの勝利とも言えるでしょう。「バーチャルライバー」という主人公の夢と一緒に追う事になったバディを冴えない年配者に設定したのも成功していると思います。キャラの描き分け、フキダシの位置、長過ぎる送り仮名等課題もありますが、これからも楽しい作品を描き続けて頂きたいです。

(審査員：星野正美)



第11回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ奨励賞

[マンガ部門 (一般)]

「纏綿花」 茅野登

CLIP STUDIO PAINT

ある日親友である二名 董(ふたな すみれ)が自殺した。八上 朝咲(やがみ あさき)は何故彼女は親友である自分に何も話さず死んでしまったのか分からず、苦しい毎日を送っていた。しかし、そんな日々の中でもずっと彼女のことを思い続けていた八上は、思い出の欠片から彼女が命を投げ出した真実を知ることになる。

講評

「何故親友は自殺してしまったのか?」、その理由を探り「私は彼女に対してどうすればよかったのか?」と親友の自殺の経緯を辿る話と見せかけてのどんでん返し。話の意外性と最期の展開に数多く集まった応募作品の中で一番印象に残る作品でした。読者の予想を覆す話の持って行き方がとてもうまく、初めてこの話を読む人で先の展開を予測できる人は中々いないだろう。もし話を予測できるとしたらキャラの容姿から嗅ぎ取れるかもしれないが、そういう意味でもキャラデザインもよく出来ています。

(審査員: いけ)



第11回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ奨励賞

[マンガ部門 (高校生)]

「あの子と同じ」 若林紗枝

コピックマルチライナー

奨励賞ありがとうございます。本当に嬉しく思います。偶然が重なって出来た仲を描いた作品です。主人公の表情から、楽しそうで明るい雰囲気が伝えられていたら嬉しいです。

講評

奨励賞受賞おめでとうございます！絵柄もテーマも大変可愛らしく「憧れの同級生と趣味が同じ」という事に気づいた主人公のワクワク感が素直に伝わって来ました。学校での2人の日常生活の様子も描けたら、物語に更なる厚みが出たと思います。絵柄の方向性はこのままで全く問題ありませんが、今後は人物デッサンや背景の練習も取り入れてリアリティを追求出来ると良いと思います。頑張ってください！

(審査員：星野正美)



第 11 回
GUNMA マンガ・アニメフェスタ奨励賞

[マンガ部門 (高校生)]

「おばけの世界でやさしい君と」 石原妃華

ミリペン、コピック

今回は奨励賞を頂き、本当に嬉しく思います。この作品は、どの年代の人が見ても分かりやすくなるように設定を考えました。また、キャラクターも親しみが持てるようにシンプルで可愛くなるようにデザインしました。使った画材はコピックです。立体感が出るように工夫しました。私は、今回初めて漫画を書きましたが、思っていたより良い作品になったので良かったです。

講評

最初に目につくのが絵本のようなお話と絵柄で、キャラデザインや描かれている世界がとても可愛らしく魅力がある。内容は生と死の狭間のお化けの世界に迷い込んだ主人公が途中出会う優しいお化けと帰り道を探すという話。怖いお化けに追いかけられたりもするが、全体を通して優しい話で読了後に幸せな気持ちになれるのがとても良い。この絵柄に優しい話づくりを個性として是非作家性を伸ばして行って欲しい。

(審査員：いけ)



第11回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ奨励賞

[マンガ部門 (中学生)]

「ヘッ」旬

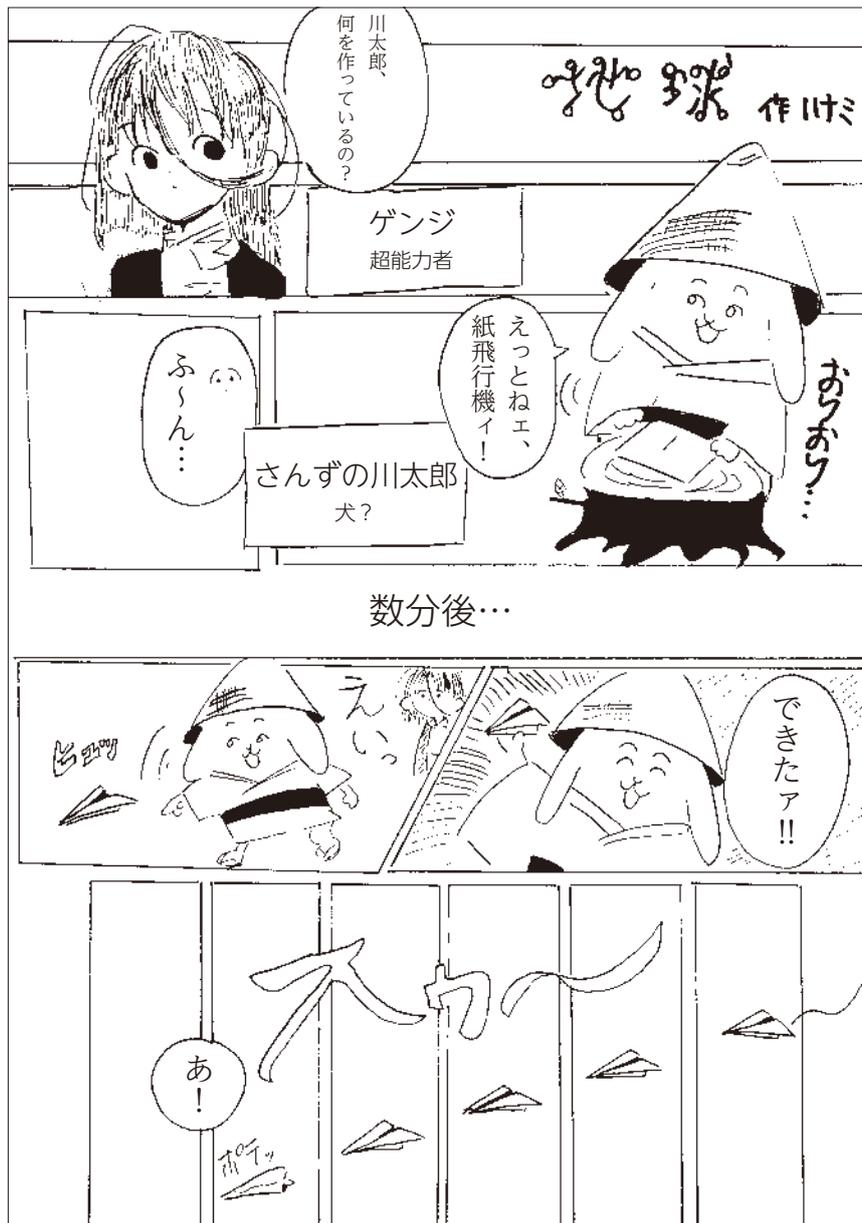
Gペン、丸ペン、サインペン、黒インク

あんな変な漫画を選んでくださり、本当にありがとうございます。初めて作った漫画で、スクリーントーンを使用していなかったり、絵が上手ではないような漫画ですが、こうして受賞できたことを光栄に思います。

講評

「ヘッ」という二文字が、息を切らしながら走る時にも、金貸しのような男に頭を下げる時にも、そして最後のシーンにも合うとても秀逸なチョイスです。加えて興味深いのが、セリフの無い無音の漫画とは似て非なる点にあります。無音漫画は読者にセリフを想像させながら読ませますが、この漫画は「ヘッ」が画面上に散りばめられていることで疾走感を生み、立ち止まって想像する余地を与えません。作品世界に読者をグッと引き込む力強い作品でした。

(審査員：末永雅弘)



第11回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ奨励賞

[マンガ部門 (中学生)]

「地球」 ハナミ ペン

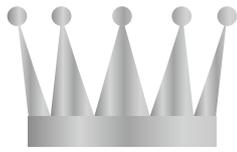
もう少し丁寧に描けば良かったなと少し後悔しています。でもこの作品は少しグダグダとした変な感じがいいのかもしれない。自分自身もよく分かりませんが、読んでくれた方々に少しでもこの2人のことを好きになってもらえたらいいなと思います。

講評

この話は特にストーリー性はないのだが、紙飛行機を魔法で大きくしそれに乗って宇宙へ飛び地球を眺めるといふシュチュエーションが絵的にとても楽しい。漫画は物語で読ませるばかりでなく、描きたいワンシーンのために話を作ることさえもあるので、自身が描きたいシーンを作り出せるのは大切な才能の一つである。この先は思いついた描きたいイメージをそのまま描き出せる画力をつけてゆき、そのシーンの魅力を引き立てる話づくりに挑戦してみたい。

(審査員：いけ)

落としたものは…。



第11回

GUNMA マンガ・アニメフェスタ大賞

[4コマまんが部門]

「落としたものは、…。」

石原妃華

ボールペン、色鉛筆

今回は大賞を頂き、本当に嬉しく思います。この作品は、童話の金の斧、銀の斧から発想をお借りしました。また、暖かい印象にしたかったので、画材に色鉛筆を選びました。色むらが無いように描く事は難しかったですが、1つ1つ丁寧に仕上げる事が出来たので良かったです。

講評

4コマまんが部門には、様々な立場や年齢の描き手による様々な表現が寄せられ、審査委員一同、どの作品を選ぶべきか、大いに頭を悩ませました。なかで…一同に本当に素直な笑顔と明るさをもたらした本作品が大賞を射止めることになりました。シンプルな思いつきをキュートなキャラクター造形やシンプルで無駄のない構図、明るいカラーリングで完成度高く仕上げました。その腕前は、大賞にふさわしいと評価いたしました。

(審査員：猪飼幹太)



パンダの1日

第11回 GUNMAマンガ・アニメフェスタ優秀賞

[4コマまんが部門]

「パンダの1日」

miu

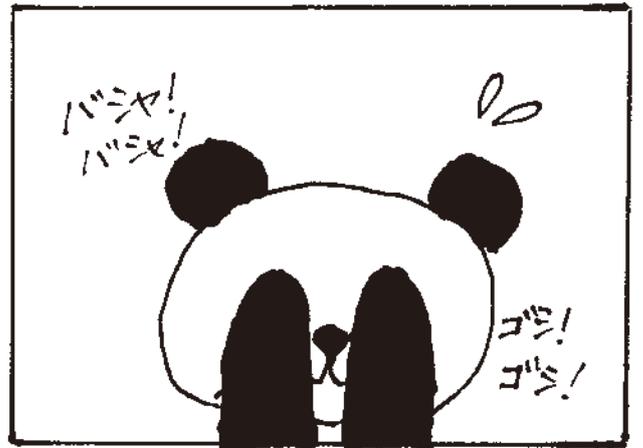
ペン

賞をいただきとても驚きましたが、すごく嬉しいです。ありがとうございます。クスッと笑える作品をと考えたので、気持ちが届いていたら幸いです。

講評

一日の終わりパンダのメイクを落としたら目の周りの模様が落ちて…。誰もが一度は思うパンダの模様を落としたらただのクマだよな…という思いを描いた4コマ漫画。メイクを落とす前のパンダはマスカラも使ったばっちりな化粧で、化粧を落とした後のシンプルでつぶらな瞳の誰かになるのは絵的ギャップに笑える。パンダの柄はメイクの過程でパンダ目になってしまったのか？それともクマが仕事でパンダの格好しているのだろうか？などと考えられるところも面白い作品である。

(審査員：いけ)



大切な物

第11回 GUNMAマンガ・アニメフェスタ優秀賞

[4コマまんが部門]

「大切な物」

Gdesign

Photoshop

大切なモノには名前をつけましょう！名前を付けるということは「命名する」と言います。命をふきこむのです。

講評

子どもの素直さ故の可愛さが伝わる、ほっこりする4コマです。母親に言われたことに従う素直さ、食事への名前の付け方が名称そのまんまである素直さ、そして大切だから食べられない素直さ、というようにこの子は一貫して素直で、そのことが4コマの素朴な面白さに繋がっています。一方で深読みすると、家畜に名前を付けて飼育し、最終的に命をいただく有名な食育の話にも通じるようなテーマ性も感じました。

(審査員：末永雅弘)



さばくう

第11回 GUNMAマンガ・アニメフェスタ奨励賞

[4コマまんが部門]

「さばくう」

草間桃花

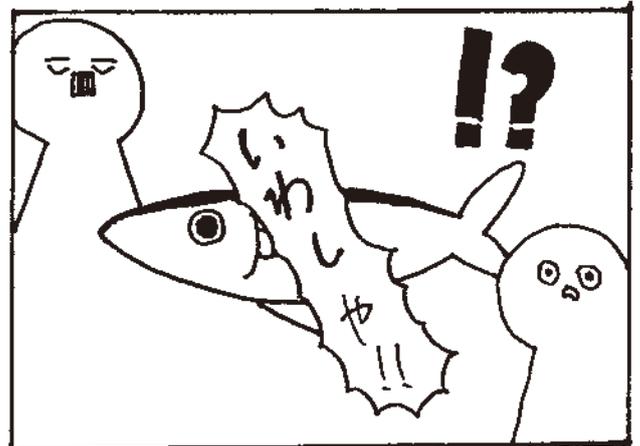
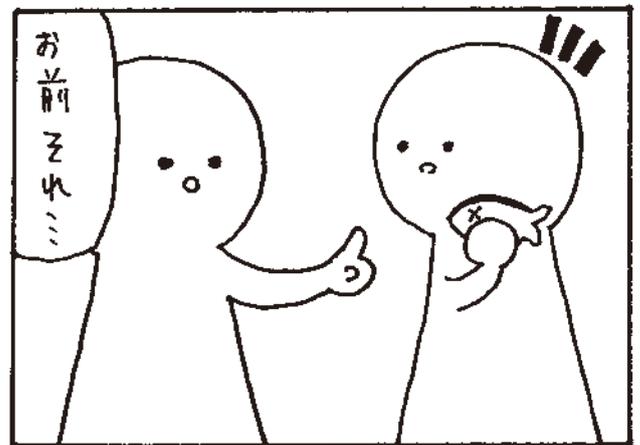
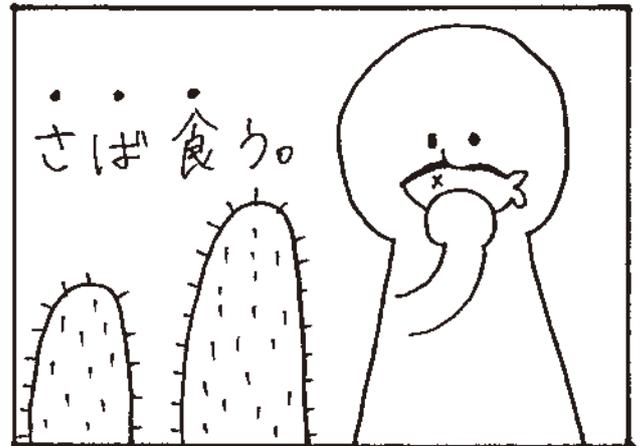
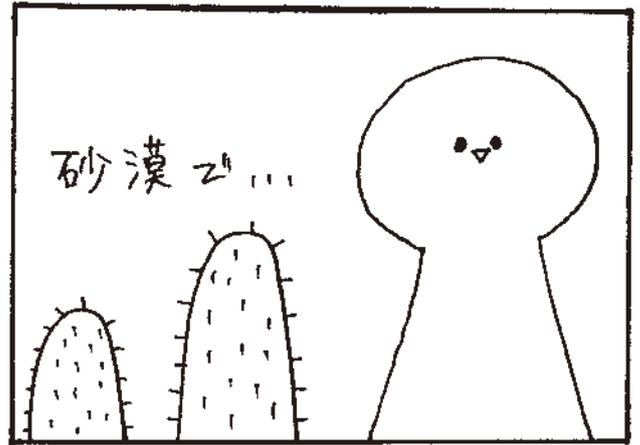
ペン

みんながクスッと笑えるような4コマ漫画が作りたくて、ダジャレだとみんな親しみやすいし誰もが笑顔になれるかなと思い作りました。この4コマ漫画を読んだとき、読んだ人達が少し笑顔になっていたら嬉しいです。

講評

奨励賞受賞おめでとうございます！とてもわかりやすく、全方位の読者に愛される作品だと思います。絵柄もシンプルで可愛らしく、過不足なく情報が入っていて良かったです。一つだけ…ラストの魚がサバっぽいので、ここはもう少しリアルにイワシに寄せて頂けたらバッチリだったのかなと思いました。他にも作品を読んでもみたいと感じる作者さんでした。

(審査員：星野正美)



手をあげろ

第11回 GUNMAマンガ・アニメフェスタ奨励賞

[4コマまんが部門]

「手をあげろ」

STUDIO 三度

ジャンプPAINT

やったあ

講評

一読して声をあげて笑ってしまいました。ダジャレを4コマに落とし込むのは実は難しいのですが…。実に素直にシンプルに料理することで、この描き手はその難関を突破してみせたようです。無駄がないのが良い。変に回りくどい工夫をしていないのが良い。キャラクターに表情がついていないのが良い。撃たれる側の青年の一貫して謎に穏やかな表情が私はお気に入りです。

(審査員：猪飼幹太)





第11回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ大賞

[アニメーション部門]

「わたしたちのいるところ」 天田理紗

色紙、DRAGONFRAME、After Effects、Premiere Pro

(7分37秒)

地元である群馬でこのような素晴らしい賞をいただき、とても嬉しいです。この作品では、心の中で起こる成長や葛藤、そして心の外の世界に飛び出したときの景色を、2人のキャラクターを通して描きました。アニメーションの作中で現れる植物は、自ら動いてキャラクターを襲ったり邪魔をします。私自身、この作品を制作している途中はさまざまな苦労や悩みがあり、まるで動く植物に絡まれているようでした。今回の受賞で、アニメーションの最後の場面のように外の世界にやっと一歩踏み出せたような、そんな気がしています。これからも引き続き、他の人や場所、外の世界と繋がれるようなアニメーションを制作していきたいです。

講評

デジタル上での作画や撮影が主流となっている中、紙で作られた素材のコマ撮りという手法が目立っていました。細かく作り込まれた画面は見応えがあり、完成度の高さと、個人制作ならではの自由なデザインや演出、発想が評価され、大賞となりました。植物の動かし方が見事で、シンプルな動きながら、速度や質に変化を与えることで、植物たちの怖さ、不気味さ、優しさ、可愛らしさ、感情を上手く表現していました。人間と植物との交流を描く上で、人間の感情表現を抑えめにし、植物を生き生きと描いたのは良い判断だったように思います。静かな音響が緊張感を出していて良かったのですが、少し静かすぎる(物足りない)と思う箇所もありました。他、空の表現等、平面的に見えるすぎている(スケールを小さく感じさせている)カットがあったこと、少し間延びしていると感じる部分があったこと、全体的に物語がわかりづらかったことが残念でした。今後も作品を作り続けてもらえたら嬉しいです。

(審査員：大山慶)



第11回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ優秀賞

[アニメーション部門]

「きつねつき」 狐日和

Maya

(7分11秒)

行きすぎた協調性をストーリーの軸とし、子どもたちの葛藤を描いた作品です。3DCGでありながらも水彩画のような質感に挑戦し、神社や駄菓子屋といった舞台にすることで日本らしい作品に仕上げました。この作品は同調圧力をテーマとしていますが、似たような経験をされた方も多いのではないかと思います。同じ悩みを持つ方に寄り添う作品になれたらと思い制作したので、多くの人目に触れる機会が増え嬉しいです。この度は優秀賞という名誉ある賞に選んでいただき、誠にありがとうございます。

講評

水彩と和紙の肌理を思わせるテクスチャがつけられた3DCGアニメーション。背景まで細かく丁寧に作られており、グラフィックに関して力を注いだことが伝わってくる。また、主人公の心の動きをしっかりと動きによって表現しようとしている点も評価したい。だが、その動きに注力した反面、発声を「あー」「うー」のみにしてしまった点は再考が必要だろう。同様にタイトルにもあるキツネの役割がはっきりと分かりにくい点も改善の余地があるのではないだろうか。

(審査員：岩崎宏俊)



第11回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ優秀賞

[アニメーション部門]

「デリバリー」 DISK

Illustrator、After Effects

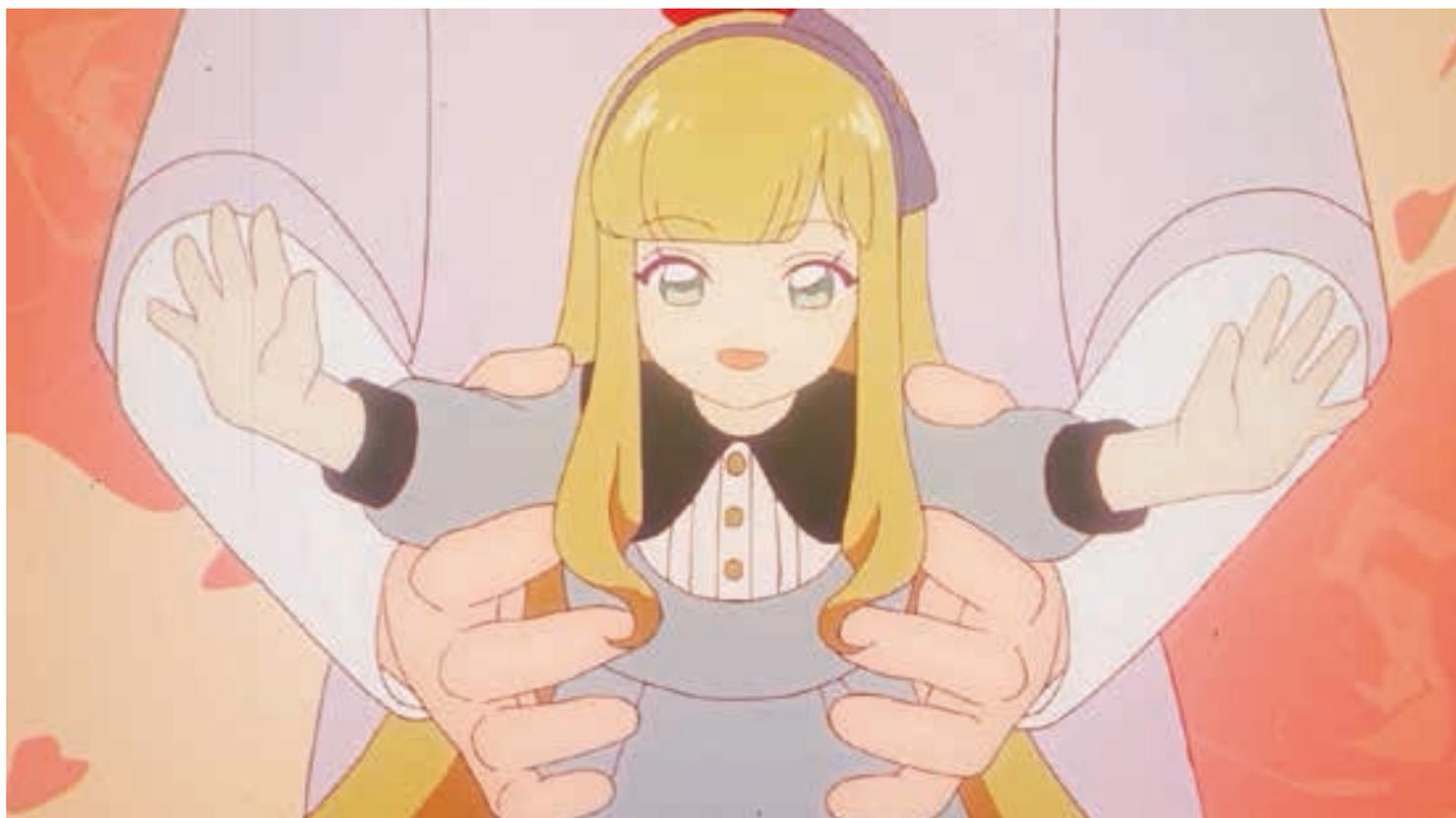
(2分19秒)

お寿司が宇宙に浮いているシーンを作りたいと思い、繰り返しがちな毎日の中で少し変わった特別な体験をする様子をストーリーに制作いたしました。

講評

冒頭のシーンから目を引かれた。宇宙に浮かぶ寿司と宇宙飛行士、そこからマッチカットで布団に横たわる主人公へと繋がる。先の読めない展開で楽しんで見られた。もちろんアニメーション自体はだいぶ荒削りではあるのだが、このようなオリジナル作品が出てきたことは好ましい。ぜひ、作品を作り続けて欲しいと思う。

(審査員：岩崎宏俊)



第11回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ奨励賞

[アニメーション部門]

「箱入り娘」 おもいで工房

CLIP STUDIO PAINT、After Effects

(5分51秒)

この度は素敵な賞をいただけて大変嬉しく思います。人形が人間の世界に出たらどんなことが起きるのか、どんな景色を見るのか。そんなことを想像しながら川越市にロケに行きました。人形と人間の心がテーマとなっており、キャラクターの内面を表現するため、表情や体の演技にこだわりました。少し昔の風景を思い出すようなレトロチックな画面と一緒に楽しみください。

講評

ストーリー、演出、作画、編集、音響等、どれもしっかりと作られていて、チームで作る学生の秀作として大変良く出来ていると感じました。ただ、同時に、ストーリーや演出、作画に、それぞれ少しずつ物足りなさも感じてしまいました。これまでのアニメ表現を学び模倣するだけでなく、その作品にとって必要な表現を、試行錯誤の中から自ら発明していくような姿勢をもう少し感じたかったです。

(審査員：大山慶)



第11回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ奨励賞

[アニメーション部門]

「ストライド・ステップ」 アナトリ

CLIP STUDIO PAINT、After Effects、Maya

(4分20秒)

この度は奨励賞ありがとうございます。「ストライド・ステップ」というタイトルは、ストライドとは歩幅、ステップとは歩調という意味で、主人公が会社から家に帰るときの歩幅、猫の歩幅、異世界に行ったときの内藤がラヴィに歩調を合わせる、現実世界に戻ったときに主人公が周りの人たちと共に歩もうとする。その物語を通しての歩き方の変化をタイトルにしました。

講評

異世界に突入した際に輪郭線の色を変える表現(細田守監督作品によく見られる)など、これまでアニメをよく見て影響を受けてきたのだろうと思う。だが、例えばドアを開けるときは必ず手のアップのカットを入れるなど、全編を通して説明的なカットも多い。今後も個人作品を作るのであれば、アニメ以外の様々な映画を見るなどして、俳優の演技やカメラワークなど研究を深めてほしい。

(審査員：岩崎宏俊)



第11回



GUNMA マンガ・アニメフェスタ 特別審査員賞／ワコム大賞／大賞

[イラスト部門 (小学生)]

「心の中のお守り」 本木安寿

ボールペン、鉛筆、色鉛筆

とてもビックリしました。絵を描くことが大好きなので、だれか(審査員さんたちとか)の心に伝わったのならよかったです。みんなの中にいろいろな神様がいて守ってくれています。11体のいろんな神様と、小さい動物たちも描きました。まん中の神様は、龍と大きな蓮の上に乗っています。神様を描いた紙を切って色紙にはりました。最初はビックリしたけど、とても嬉しい気持ちになりました。選んでくれてありがとうございます。

講評

龍をまとい中央に鎮座するあたたかな色合いの偶像と、それを取り巻く様々な天女たちがとても可愛らしいと思い、選ばせていただきました。それぞれがにっこりとしたおだやかな表情を浮かべ、優しさに満ちた世界観が印象的です。お釈迦さまのようにも観音さまのようにも見えるその偶像の姿は、まさに作品のタイトル通り「心の中のお守り」として、2024年という年を明るく照らしてくれそうですね。(審査員：田中敦子)

まるで心の中の宇宙空間にいるような印象を受けました。周りに点在するイラストにはそれぞれ、色々な国の人物と種類の違う花が描かれていてこの作者の世界観の広さに驚きます。中心に大きく描かれている観音さま。その頬には薄くピンク色が塗られていて暖かな優しさ、後光のように存在する龍には強さを感じます。「心の中のお守り」というタイトルから世界中の人の平和を願う作者の気持ちが表現された、ダブル大賞にふさわしい作品だと思います。(審査員：いまいずみひろみ)



第11回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ大賞

[イラスト部門 (一般)]

「鷹狩り」のだけん

アクリルガッシュ

埴輪やモネを想像しながら、楽しんで描きました。受賞にビックリ。嬉しいです。ありがとうございます。

講評

鮮やかな空のもとざわめく草むらに立つ古代の装束の人物。人物の影に青が効果的に使われていて、青空に吸い込まれるような印象を強調しています。古墳群を有する群馬にふさわしいテーマに加えて、大胆な筆使い、絵の具の盛り上がりと色の美しさに圧倒されました。

(審査員：有田満弘)



第11回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ大賞

[イラスト部門 (高校生)]

「唾棄・死んでほしい」 葦

ibisPaint

お前に死んでほしい

今よりもずっと良い絵が描きたいです。
気分が悪くなってきました。

講評

引き算の美学の勝利！日本画や水彩のような少しムラのあるしっとりした滲んだセピアの色調は、デジタルとは思えない質感があり、脱力した表情と合わさって、唯一無二の世界観です。計算された構図や、線の抑揚、少し飛び跳ねた髪の毛先、瞳に入ったハイライトなど、少ない情報で隅々まで魅せてくれます。ぜひ、このシリーズで他のイラストがあれば拝見したいです！

(審査員：國分郁子)



第11回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ大賞

[イラスト部門 (中学生)]

「魔女の休日」 華ころ

CLIP STUDIO PAINT

華ころです！この度は中学生部門の大賞本当にありがとうございます♪どのような構図にしたら目をひくか、顔や物のバランスはおかしくないかなど、たくさん考え悩みました。このことをきっかけに、華ころのことを知ってくれる人がいたら幸いです！

講評

キャラクターデザインと絵柄が今っぽくて可愛らしいですね。それに対して塗りはアナログ水彩とデジタル厚塗りの間のような独特な質感で目を引きます。顔へのあたたかな光の当たり方が、画面の外の空間がどうなっているのか想像させられました。魔法薬の研究中かな？と思いきや、タイトルは「魔女の休日」。休日にまでどんな魔法を使っているのか、気になる一枚でした。

(審査員：おはぎ)



第11回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ優秀賞

[イラスト部門 (一般)]

「Sweets girl」 あらもん

CLIP STUDIO PAINT

この度は優秀賞を賜り大変嬉しく思います。ありがとうございます。この作品はスイーツ大好きな女の子の欲望を描いたものです。こんな世界に行ってみたい、食べてみたいと思って貰えたら嬉しいです。

講評

画面いっぱいのおいしそうなスイーツに目を奪われました。絵からいいかおりが漂ってくるようです。食べ物をおいしそうに描くのは難しいので、デフォルメが強めの絵柄の中に確かな画力を感じます。女の子が青基調になっていることで、スイーツ達に埋もれずちゃんと主役の存在感を放っているのが見事です。スイーツがモチーフの可愛いMVの一瞬を切り取ったような、世界観を想像させてくれる一枚でした。

(審査員：おはぎ)



第11回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ優秀賞

[イラスト部門 (一般)]

「出勤送迎コースター」 こぶとりらゐど

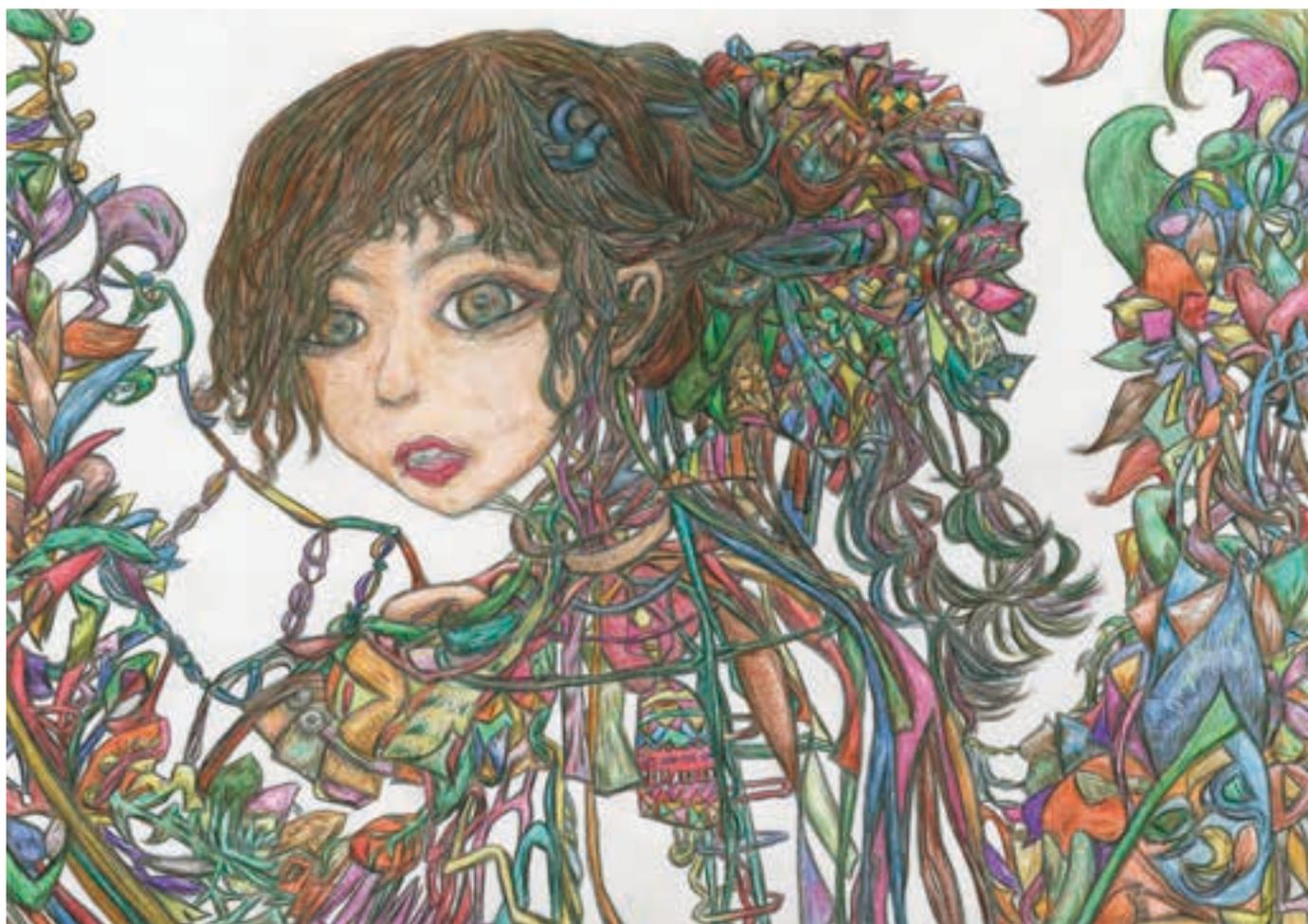
CLIP STUDIO PAINT PRO

この度は大変栄誉のある賞を頂き、誠に光栄に思います。自分の濃い絵柄はSNS等でのウケは余り良くなく自信を失っていたところなので、大変励みになります。この受賞を励みに、今後も人に伝わるイラストを描けるよう邁進いたします。この受賞作は2023年の春に向けて描いたもので、前向きで楽しい感じのイラストにしました。箱型自転車で出勤しながら双子を送迎する際、坂道をローラーコースターに見立てて下っている様子を描いています。

講評

桜の花が舞う坂道をジェットコースターのように駆け降りる送迎バイスクル。どこかのリゾート地のような背景と夢のバイクは次元の違う世界観を出しています。それでいて2人の少女が春にスタートしたばかりの学校に行く喜びと、次々にコーナーを攻めていく送迎コースターのスリルの両方を味わうリアルさも伝わります。作者とPCの共同制作の面白さですね。

(審査員：いまいずみひろみ)



第11回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ優秀賞

[イラスト部門 (高校生)]

「アジサイ」 塩野玲奈

シャープペンシル、色鉛筆

入選を狙っていたので、入賞を知った時とても嬉しかったです。

講評

迫力のある大きな瞳の顔立ちに対して、肉体は修理中のアンドロイドのようにからっぽの管だらけ。一瞬ギョツとするインパクトながら、髪の毛束や、カラフルな周囲のオブジェは隅々まで丁寧に、強い意志でこだわって描かれており、まじまじと細部を眺める楽しさがあるイラストです。アジサイというタイトルによって、新たなバランスで組み合わせさせた未来の植物を感じさせ、不思議な感覚になります。

(審査員：國分郁子)



第11回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ優秀賞

[イラスト部門 (高校生)]

「ひよこ大集合」 石原妃華

色鉛筆

この度は優秀賞を頂き、本当に嬉しく思います。この作品は、暖かい印象をもってもらう為に色鉛筆を使用しました。出来るだけ色々な色を使い、見ていて楽しいイラストに仕上げました。ひよこ一匹一匹を描き分ける事は難しかったですが、可愛く描けたので、良かったです。

講評

画面構成、色、キャラクターの雰囲気、吹き出しの文字まで完成した世界観をお持ちであることが一目でわかる作品だと思いました。アナログかデジタルか、画像では判断できないほど綺麗な仕上がりのアナログ画でこの世界観をズバリ表現し切っている力量は驚きです。

(審査員：有田満弘)



第11回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ優秀賞

[イラスト部門 (中学生)]

「花畑」 矢内蒼

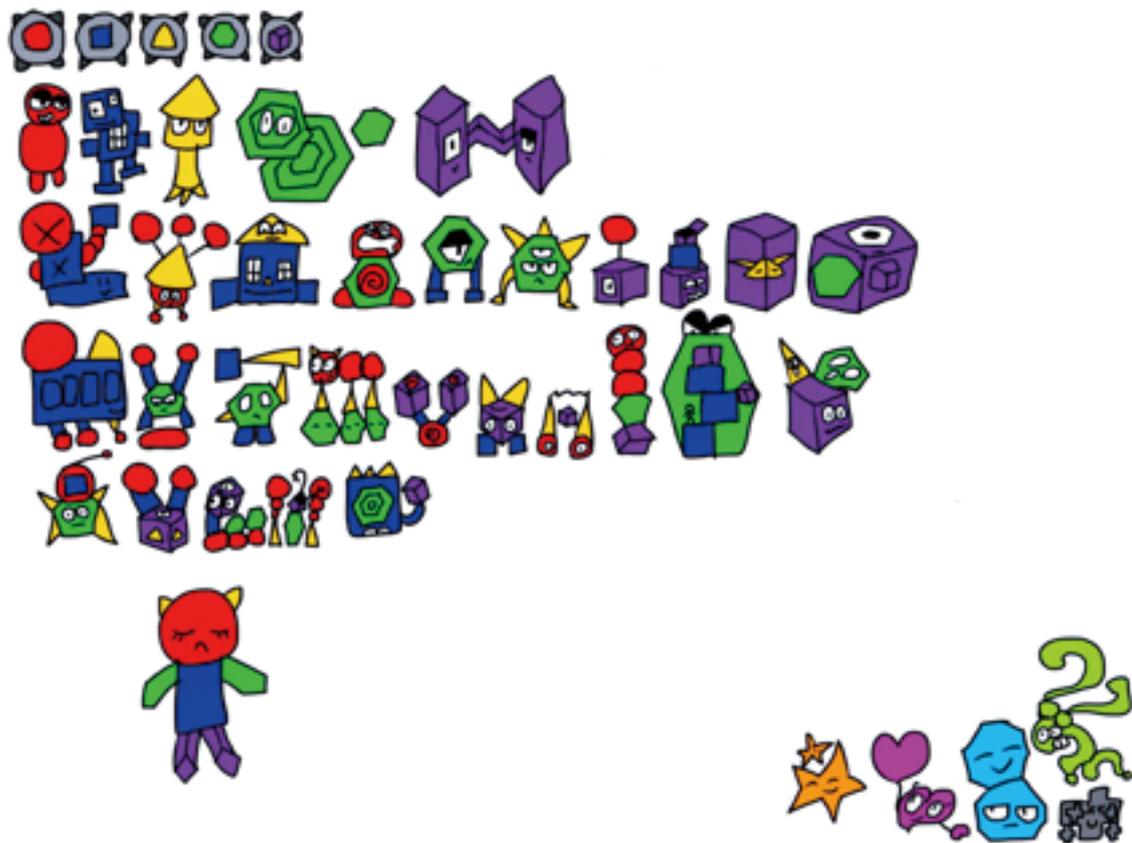
コピック、マスキングインク、マルチライナー

賞を頂き、ありがとうございます。作品に描かれている花は、明るい花言葉を持っている花を描きました。

講評

すみずみまで繊細に丁寧に描き込まれていて思わずじっと見てしまいます。花や蝶をよく観察して描いているのが伝わってきますね。華やかなお花畑に負けじと、編み込みの女の子もとてもかわいらしいです。くりっとした瞳の不思議なグラデーションをじっと見つめると吸い込まれそうです。春の日差しを感じさせるようなあたたかな色使いが素敵な一枚でした。

(審査員：おはぎ)



第11回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ優秀賞

[イラスト部門 (中学生)]

「いろいろ」 作者名

Sketchbook

優秀賞がもらえて嬉しいです。

講評

マウスで描かれたのでしょうか、ややぎこちない一定の太さの線、ムラのない塗り、ハッキリした色の全てが作品の個性を際立たせています。シンプルで力強い表現に加え意図的なものなのかどうか想像をかり立てる配置も秀逸。枠に縛られない表現が素晴らしいと思います。

(審査員：有田満弘)



第11回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ優秀賞

[イラスト部門 (小学生)]

「魔女のセカイ」 久本小葉

水彩絵の具、ペン

絵画が大好きで、将来は芸術関係の仕事につきたいと思っています。受賞できて、夢に一步近づいたようで嬉しいです！魔女の世界観や、背景にある建物の立体感を表現するところが頑張ったので、是非見てほしいです。

講評

どこまでも続いていそうな広大な世界観に圧倒されました。浮かんでいる木や立派な建物、ちらりと見える鳥居…この世界で魔女たちはどんな生活をしてどんな魔法を使っているのか、考えるだけでワクワクしますね。自然物の色使いが見事で、幻想的な世界観にぴったりです。特に雲の色使いは時間の経過を感じさせてくれて、この絵に奥行きを作っています。これからもぜひ自分の世界を表現して行ってほしいです。

(審査員：おはぎ)



第11回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ優秀賞

[イラスト部門 (小学生)]

「チャイナチャイナ」 おお

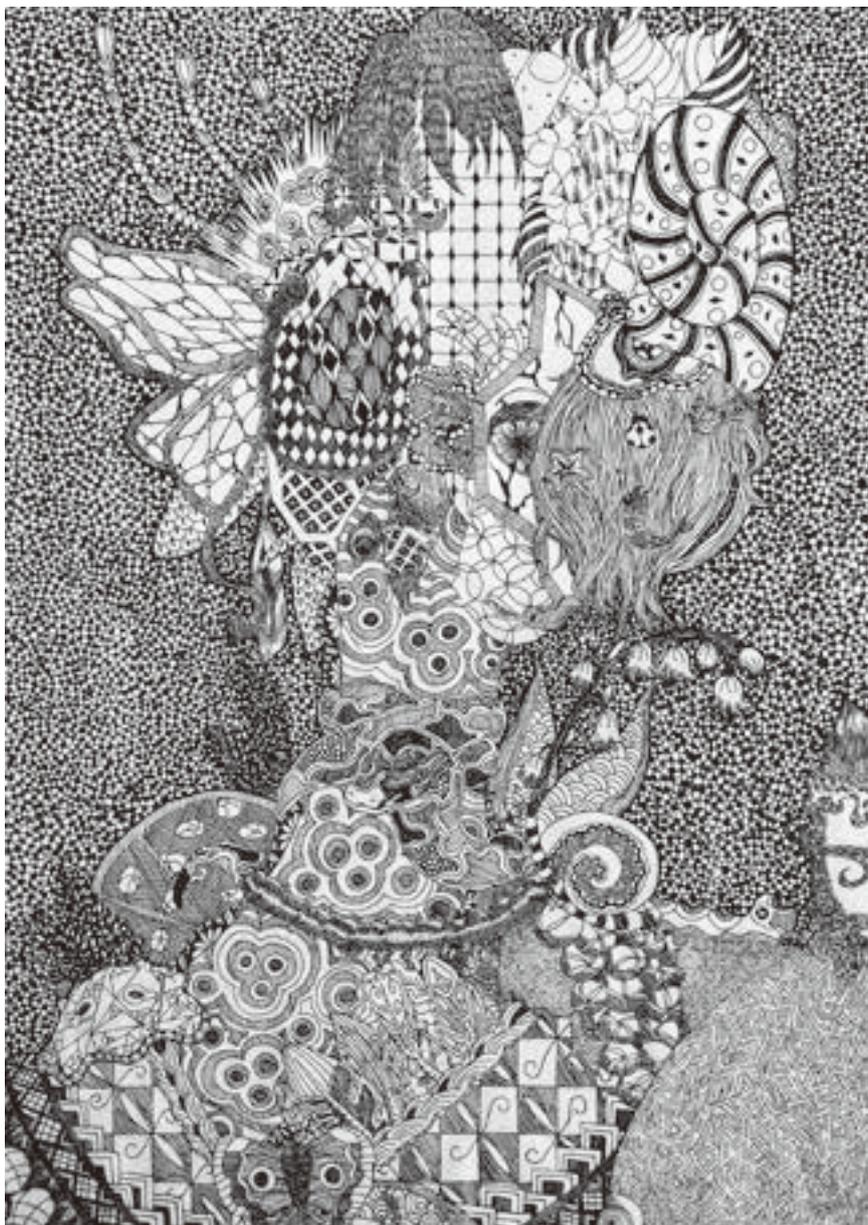
コピック、色鉛筆、ミリペン、絵の具

思ってもいなかったのびっくりしています。素晴らしい賞をもらえて嬉しいです。

講評

とてもポップに描けていて無駄のないイラストですね。2人の少女のポーズ、四隅のパンダの顔、ぐるりと囲む「雷紋」小学生とは思えないデザインセンスだと思います。このままカップ麺のパッケージに使いそうですね。2人の少女の相対的なポーズにしても、服の色、目の色、片方だけに履いている黒のストッキング…カラーセンスも抜群です。

(審査員：いまいずみひろみ)



第11回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ奨励賞

[イラスト部門 (一般)]

「生植物肉体美」 絆創膏のK.K

Uni スタイルフィット、maruman スケッチブック

賞を賜り、大変嬉しい限りです。ぜひ、作品の中に潜む「アンモナイト」、「ウツボ」、「ハリネズミ」、「つくし」、「大根」など美しく、様々な動植物を見つけてみてください。

講評

線画による細密画は画像での事前審査と原画をみでの評価が大きく変わりがちですが、本作も原画を見て評価が大きく変わった一作です。原画を手にタイトルから絵を読み解こうと考え始めると目が離せなくなります。

(審査員：有田満弘)



第11回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ奨励賞

[イラスト部門 (一般)]

「夏空とガス欠」 tomarunba

MediBang Paint

夏の暑い日、周囲に何も無い場所でガス欠したとしても。慌てず嘆かず笑って一服。そんな感覚で、長い人生ゆったり行きましょう。

講評

夏の盛りにオートバイがガス欠になっても「いつものことさ」とタバコをふかす老人の余裕の顔が素敵です。短パン、ビーサン、ランニングシャツ姿はきっと50年前から一緒なんだろうな、この老人の青春は今も現役を続行中。そんな作者の視点に共感しました！夏空は若者だけのものじゃないんですね！

(審査員：いまいずみひろみ)



第11回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ奨励賞

[イラスト部門 (高校生)]

「冬眠」 天川結愛

コピック、水彩、コピックマルチライナー

この度は奨励賞という素晴らしい賞を頂き、ありがとうございます。とても嬉しいです。このイラストは、今か今かと春を待ち眠りに着く動物たちをよそに、もう準備を整えた春が今にも訪れる様子を描いたイラストです。冷たくも、暖かい様子を表現できるように、暖色を多く使うなど、細部までこだわって描いたので、是非たくさん見て頂けると嬉しいです。

講評

かわいいモチーフながら、しばった色数で、重ねた塗りの層の濃さを計算して魅せてくれる彩色が、カラッとした印象を与えており、とても良いバランスのイラストです。クマの足の裏がクマ型になっていたり、それぞれの小動物の見せ方も一工夫あり、細かいこだわりや愛情が伝わってきます。

(審査員：國分郁子)



第11回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ奨励賞

[イラスト部門 (高校生)]

「Daydream」 宍戸樹利愛

FireAlpaca

果てしない空と雲の中を飛ばたく鳩のことが羨ましく感じる金魚。ペットの金魚は色鮮やかでとても輝いています。そんな金魚に鳩は興味津々です。初めてデジタルに挑戦しました。分からないことだらけでしたが、様々な機能を試しながら納得のいく作品が完成しました。デジタル特有の光や透明感が表現できたと思います。

講評

毎日空を見上げながら金魚鉢の中でのみ生きてきた金魚。空に飛ばたい鳥たちに応援されながら魔法の羽をくわえて運命の鎖を切って空に舞う。作者の不可能はない、誰もが自由に生きることができると、力強いメッセージをもらいました！金魚の赤い色を中心に構図にもドラマ性を感じます。

(審査員：いまいずみひろみ)



第11回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ奨励賞

[イラスト部門 (中学生)]

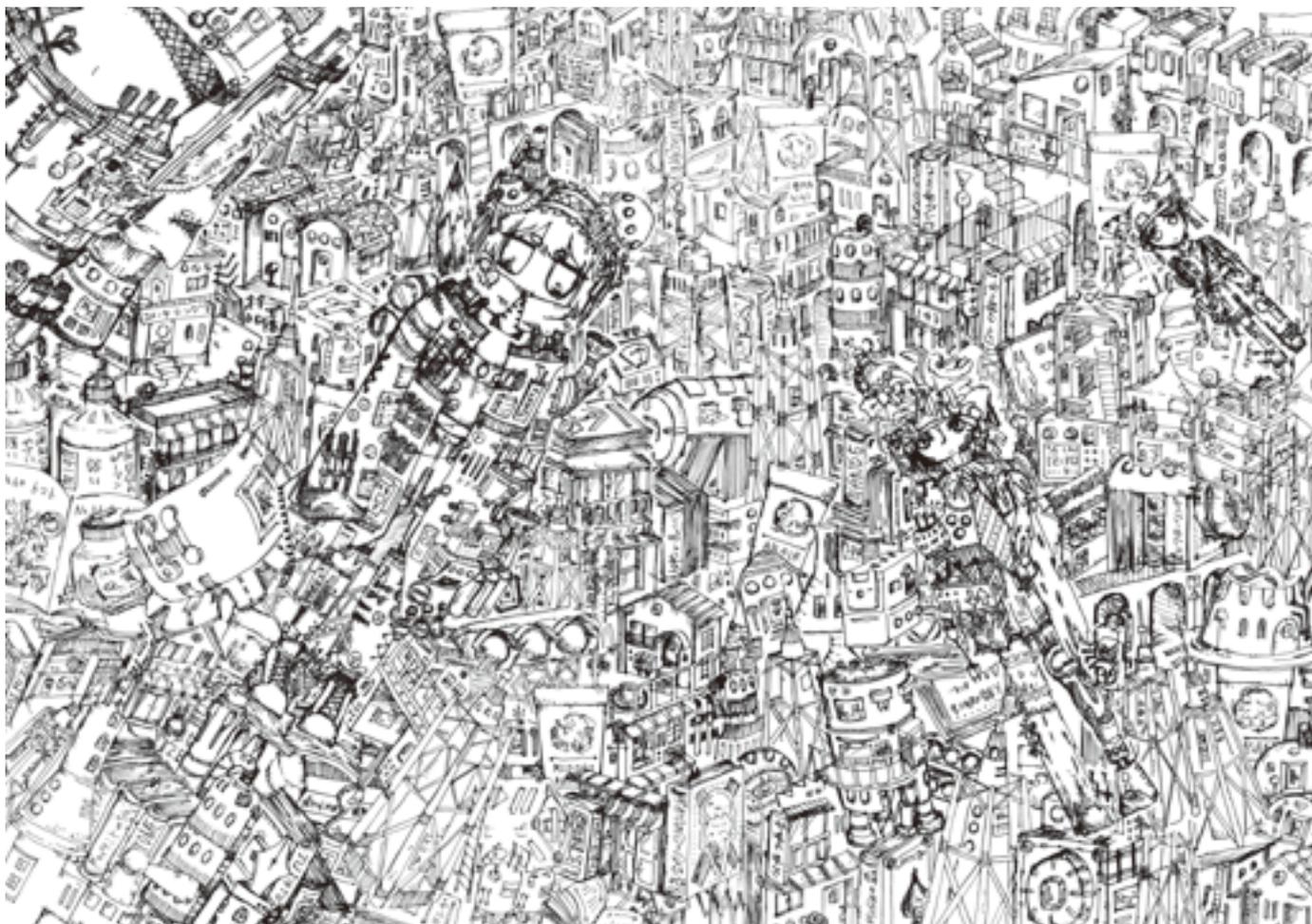
「この絵どう思う？」 BobSapp Kaira Sketchbook

まさか賞に入ると思いませんでした。

講評

なんだか目を引くイラストで、この絵は何を表現してるんだろう？としばらく考えさせられた後、タイトルを見て「やられた！」と膝を叩きました。タイトル込みで作品になっている面白い一枚だと思います。丸い子の中に四角い子がいたり、色や髪型(?)にも個体差があり、この絵なんだろう？とじっと見てしまう不思議な魅力があります。

(審査員：おはぎ)



第11回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ奨励賞

[イラスト部門 (中学生)]

「～リフト双・埋流散～」 4かな

ペン

——2300年代。発展を遂げ続けた地球ではあらゆるものが効率化されました。そんな中、時代に逆行し無駄を追い求める者たちが探検家として現れ始めます。物事は埋まり流れ散っていくそんな時の流れを感じて頂けたら幸いです。

講評

道路なんて皆無！建物を鯨詰めしたような圧縮空間に、看板や商店が丁寧に描かれ、独特の空想の都市ができあがっています。建物と同化するように棒立ちの人物も、無重力感があり、不思議な魅力になっています。白黒の線だけで表現していますが、もし色をつけるなら、作者ならではの、さらに不思議な魅力が出てくるのでは!?!と想像を掻き立ててくれるイラストです。

(審査員：國分郁子)



第11回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ奨励賞

[イラスト部門 (小学生)]

「性格」 美馬悠愛

鉛筆

将来の自信につながりました。

講評

福笑いのように顔のパーツが散らばっていますが、なんだか奇妙な恐ろしさがあるのは、これが証明写真の人物だからでしょうか。カチッとしたまじめな服装で、まっすぐ前を向いている静かな姿。作者は丁寧に、ほつれた髪の毛先や首の影を描いています。なのに、どんな人なのかわからないほどに顔が散らばっている…。小学生とは思えぬ鋭い視点、現代的な風刺が効いたイラストです。

(審査員：國分郁子)



第11回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ奨励賞

[イラスト部門 (小学生)]

「カメノウチュウジン」 本木心寿

色鉛筆、鉛筆、絵の具、ボールペン

選ばれるとは思わなかったので、選んでくれてありがとうございます。カメを3びきかかっていて、いつもカメがこういうことをしたらおもしろいだろうとか、カメがしゃべったら…とか、想像していて、うちゅうせんに乗って、うちゅうのこうら星に行ったところをかきました。黄色い点々は星で、筆に絵の具をつけてとばしました。これからも、カメの絵をかいていきたいです!!

講評

見せたいものをセンターに置くセオリーに反し画面中央がぽっかり空いた構図にも関わらず、全体の色合いと夜空の絵の具の質感の豊かさに目を引かれました。よくよく見ると地球を見晴らすコウラボシに降り立ったカメノウチュウジンという奇想天外な設定。小学生とは思えない構成力に脱帽です。

(審査員：有田満弘)